



Seel

シール 通信



発行所

財団法人京都府生活衛生営業指導センター

〒606-8221 京都市左京区田中西樋ノ口町 90

TEL (075) 722-2051・FAX (075) 711-6123

ホームページ <http://www.kyoto-seel.com>Email post@kyoto-seel.com

発行人：山岡景一郎



新春のごあいさつ

財団法人京都府生活衛生営業指導センター 理事長 山岡景一郎

新春を寿ぎ、生活衛生業界の皆様にご挨拶を申し上げます。

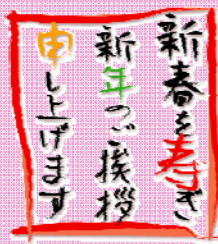
年も改まり、新内閣も発足しました。正に新たな年の幕開けとなるわけですが、この新しい内閣が私たち生衛業者にとって強い応援団であることを願っています。

全日本の企業社数、約 420 万社のうち、実にその 99.7 パーセントが中小企業です。その中であって約 600 万人もの生衛業従事者が底支えしています。しかし乍ら、日本の経済界を席卷しているのは、たった 0.3 パーセントの大企業というのが現状です。その大企業が子会社や孫会社をつくり、生衛業にまで乗り出してきています。

私たちの指導センターもいわゆる「分野調整法」を適用してその進出を阻んではいますが万全とはいえません。これからは、防戦するのではなく、我々が一体となって、積極的に新しい政府に対し、生衛業の重要さを再認識させる強力な活動をする必要があります。

もう 1 つ新しい年のニュースがあります。ここ数年にわたり取組んできた公益財団法人への移行が認められ、4 月より当指導センターは、「公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター」へと名称変更し、新たな一步を踏み出す予定です。運営体制等に若干の変更はあるものの、事業についてはこれまでどおり、生衛業の経営の安定や健全化を通じ、公衆衛生の向上を図り、消費者の利益の擁護又は増進を目的とする事業を実施いたします。これを期に、より一層、生活衛生営業の発展に寄与すべく努力してまいります。

なにとぞ、指導センターの今後の活動に対し皆様方の一層のご理解とご支援を賜りますよう、本年もよろしく願い申し上げます。



理事長

山岡景一郎

専務理事

伊井 光晴

経営指導員

山岡 真弓

"

松宮 純子

主事

山本まり子



本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

京都の持つ「力」を生かし、 「オール京都」で明日を切り拓こう



京都府知事

山田 啓二

府民の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、ロンドンオリンピックでの京都府ゆかりの選手の活躍や、京都大学 山中伸弥教授のノーベル賞受賞など、府民にとって大変誇らしい出来事があった年でありました。その一方で、痛ましい交通事故の発生や南部地域での豪雨被害、停滞する経済と厳しい雇用環境、生活保護受給世帯の増加、原子力発電所の安全性をめぐる問題や節電対策など、多くの課題が生じた年でもありました。

昨年の衆議院議員選挙では、エネルギー問題、消費税増税問題、TPP交渉参加問題などを巡って国論が二つに割れ、また領土問題など「対立」が目立った年でもありました。だからこそ、今年は「和をもって貴しとなす」、この言葉を実践する年にしたいと思います。困難な課題が多く、難しい判断が求められますが、已年となる今年は、蛇行することはあっても、着実に前に進んで行きたいものです。そのために、私もこれまで以上に「熟議」し、その上で「判断」し、みんなが心を合わせ、困難に向かって「行動」していかなければなりません。

好機の兆しをつかみ、果敢に挑戦し、 跳躍する一年に



京都市長
かどかわ だいさく

門川 大作

新年おめでとうございます。

皆様にとって、この一年が喜びの多い年になりますことをお祈り申し上げます。

市長に就任して5度目のお正月を迎えました。この間、厳しい社会経済状況の中、職員一丸となって行政改革を進めてきました。市長就任時には1万6千人余りであった市職員数を1万3千7百人にまで削減するなど、あらゆる努力を重ね、ようやく最大373億円あった赤字を解消できました。地下鉄・市バスの経営健全化も着実に前進しています。しかし、まだまだ課題山積です。行財政改革の徹底、中小企業の活性化、雇用の創出、環境、子育て支援、教育、福祉、安心安全なまちづくりなど、あらゆる

幸い、京都には、さまざまな機関や団体、そして府民の皆様が連携し、協力して大きな力を発揮するという「オール京都」の風土があります。この「オール京都」による取り組みは、昨年も「古典の日」の法律制定や、「和食」の世界無形文化遺産登録に向けた活動、「京都産業育成コンソーシアム」による中小企業支援、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするための「京都市域包括ケア」など、すでに多くの分野に及んでいます。

また、地域に暮らす皆様が協働して地域づくりに取り組む「地域力再生プロジェクト」は、この六年間で三千件を上回り、身近な道路などの改善を府民の皆様の提案により行う「府民公募型安心・安全整備事業」は、この四年間で四千五百件にも上るなど、府民の皆様の協力によって地域を豊かにする取り組みが進められました。

府民の皆様一人お一人が、夢と希望を抱き、生きがいを持って暮らせるような京都をつくっていくためには、こうした取り組みを、府政運営の三つの基本方向である「府民安心の再構築」、「共生社会の実現」、「京都力の発揮」にそって活かしていく必要があります。

京都には、伝統・文化の力やブランド力、人材やものづくり産業、学術研究の蓄積などの未来を創造する力といった比類なき「力」があります。本年三月には、京都縦貫自動車道の沓掛・大山崎間が開通し、二六年度には全線開通を迎えるとともに、北近畿タンゴ鉄道の再生やJR奈良線の環境整備を進めることで、府民の皆様の力をさらに結集できる条件が整ってきます。

日本全体が大きな構造変化に直面し、未来への道筋を見いだせない今、京都の持つ「力」を存分に発揮するためにも、今年の合い言葉は「オール京都」でいきませんか。

この一年の、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

る分野で京都の力を結集し、市民の皆様と共に今年も全力投球していく！と、新年に当たり、決意を新たにしています。

私が一貫して大切にしている行動指針、それは、「迷ったときはより困難な方の道を選ぶ」ことです。人にも、まちにも何度かチャンスがあります。それに挑戦するかしないかで、未来が決まります。ちょうど「挑む」という字が、「手」偏に「兆し」と書くように、厳しさの中で良い予兆、兆しが見えても、見ているだけでは、「眺める」だけで終わります。手でその兆しをつかみにいってこそ、「挑む」という字になります。そして、兆しをつかんで、足で走り回ってこそ、未来に向かって大きく「跳ねる」ことができます。

昨年、本市では、市民の皆様と夢や理想を共有した本市の基本計画「はばたけ未来へ！京プラン」の実施計画を策定し、すでにこれまで、特に重要な事業（リーディング・プロジェクト）の9割以上に着手してきました。本年はそれらの取組をより一層加速させていく重要な年です。勇気を持って果敢に挑戦し、京都が未来に大きく跳躍する礎を築くため、引き続き皆様と共に全力を尽くしてまいります。

本年もよろしく願いたします。



平成24年度生活衛生功労表彰受賞者
(敬称略)

理容
食鳥肉販売業
喫茶飲食
料理

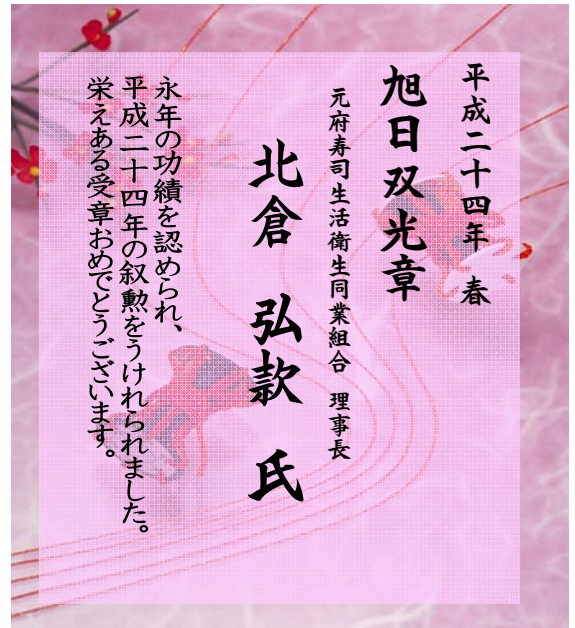
木原 法雄
落合 保夫
仲井まさ枝
新造 一夫

中央会理事長表彰者

中華料理
寿司
社交料飲
理容

上野 博史
宮本 猛
蘆田 康司
福田 秋朝

厚生労働大臣表彰者



クリーニング
旅館ホテル
麺類飲食業
寿司
料理
飲食業

今井 十一
池田 崇
瀬川 卓史
佐々木邦泰
森本 隆三
安藤 彦三

知事表彰者



クリーニング
公衆浴場業
旅館ホテル
食肉
美容業
麺類飲食業
寿司
料理
飲食業

本田 政信
村谷 純一
横山 重典
滝川 敦之
酒井 匡治
高橋 行光
速水 愛蔵
三宅 良成
鞍谷 良知
廣谷 和仁
村田 吉弘
井上 極子
松川 郁夫

協議会会長表彰者



組合推薦の無担保無保証融資制度(生活衛生改善貸付制度(通称:エイケイ))を活用しましょう。
今なら25年3月まで設備投資の利率低減 設備利率:2年まで1.25%、3年目~1.75%
運転資金も無担保無保証で年利1.75%。

設備も運転も
無担保無保証
年利1.75%

【利用条件】組合員で6ヶ月以上、現地で1年以上の営業、社員5名以下など
【資金用途】内外装などの設備資金、仕入などの運転資金、借入金1本化など
【限度額】1,500万円 【返済期間】設備資金10年以内、運転資金7年以内
※利率は平成24年12月12日現在
※他にも条件等があります。組合か経営特別相談員、指導センターへご相談下さい。



「総子化」

「生活動力 2013」2013 に向けた提言テーマ
博報堂生活総合研究所HPよりピックアップ

進展する少子高齢化と人口減少、日本の人口動態はこの国も経験したことの無い未知の領域に入っています。生活総研はこの動きを「子供としての自分」という新しい視点から捉えました。日本は今、全人口に占める比率でも、人生のおける時間でも「子供」が多数を占め、更にその時間が延びていく「総子化」の時代を迎えています。

- 「総子化」の実態：増える中高年チルドレン、子供平均年齢30歳越え、親子60年時代へ
- 「総子化」が引き起こす3つの生活変化
 - ①家族の変化：核家族 から 一族発想へ
 - ②親子の変化：上下反発 から 水平協同へ
 - ③生き方の変化：早く大人 から 子である自由へ
- 「総子化」時代のマーケティングチャンスについては、右欄にいくつかピックアップします。詳しくは博報堂のホームページをご覧ください。

①子供のポジティブ面から発想した新しいターゲット設定や消費行動の創出

「親子共学」親も子であり新しいことに挑戦したい。また高齢者の親との共学もありえる。「40 代隙間貴族」40 代後半は子育てにも介護にも縛られない自由時間。独身貴族ならぬ、隙間貴族という新たなセグメントが登場。この時期を充実させる消費や価値の提案は有効。「開業女子」習い事に親しんできた世代は教えられる趣味を持っているものも多い。育児介護中も両立が可能。「老老起業」息子が定年して退職金を得たときも親は元気で資産もある。2 人で起業し、高齢都市生活者の課題を次々解決していく。など

②親族のつながりを支援する新しいライフスタイルの実現や生活インフラの整備

「一族ハウス」家電、家具、車など一族で集住するための新たな機能を備えたプロダクト開発にチャンス。「ノマド育児」自分の家だけで無く親の家も育児場に。各世代のギャップを解消する育児講座や子供の様子を共有しあうサービスニーズが高まる。「2世代コンテンツ」高齢親子ダブル世代の共通言語となるコンテンツ開発が進む。「100 超え親子旅行」子供が定年後、親子の時間に余裕ができ、豪華客船、高級温泉旅館長期滞在など旅スタイル需要増。など

新年あけましておめでとうございます。

皆さん、恙なく新年をお迎えしたと心からお喜び申し上げます。

昨年は、何かと不慣れな私をお支えいただき、誠にありがとうございました。本日に月日が過ぎるのは早いもので、昨年4月に当指導センターにお世話になってからあっという間に9カ月がたちました。

この間、公益財団法人への移行事務とか、衆議院議員総選挙に係る取り組みなど私自身30数年間にわたる公務員生活では経験したことのない業務に携わり、新たな経験を積み重ねることが出来ました。そして、大過なく担当業務をこなすことが出来たのも、ひとえに皆様方のご協力があったることと、重ねて御礼を申し上げます。

さて、世の中に目を転じますと、相変わらずのデフレ不景気風が止むことを知らず、失われた10年が20年になり、この先何十年続くのか、心配でなりません。しかしながら減らしては何か解決しません。昨年暮れの選挙で政権が代わったことでもありますので、このあたりで何とか展望を切り拓きたいものであります。今年は巳年。十二支の「巳」は、植物に種子がではじめる時期と辞典にはあります。巳年にあやかって今年が皆さんにとって実り多き年のスタートとなりますようお願いばかりであります。

私ども、指導センターといたしましても、公益財団法人として活動を始める最初の年であります。

(△は、今は亡き中村勘三郎さんを偲んで歌舞伎の口上風に)

“職員一同、皆々様のご商売繁盛のお役にたてますよう、一層精進いたしますれば、何卒何れも様にやかれましてはご指導ご鞭撻を賜りますよう、御願ひ奉ります次第にございませう”
専務理事 伊井 光晴

明けましておめでとうございます。

昨年は不慣れなことが多く、ご迷惑をお掛けいたしました。今年こそは少しでもお役にたてるように努力いたします。

歳を重ねるにつれ一年経つのが早く感じますが、昨年は特に早く感じました。一番嫌いな数字（理数系苦手）とニラメッコして過ぎた1年だったように思います。勝敗の結果は・・・ウー。そのうえ余裕も無く、無我夢中でした。

今年は春に公益法人への移行を控えており、「今年こそ余裕をもって！」とは行かない年になりそうです。何だか指導センターには就職して通勤しているというより、勉強のために通学しているような感覚であります。「生涯勉強」誰かが言っていましたがその通りですね。今年は昨年より更に猛勉強が必要になりそうです。「頑張らなきゃ！！」

でも、私の場合脳の皺が増えるより、眉間の皺が増えそうですが。

こんな頼りない私ですが、今年もよろしくお願いいたします。(山本)

「指導員新年のヒトリゴト」



昨年は過去を「かえりみる」ことの多い一年でしたが、その中でも忘れがたい出来事がありました。秋の行楽日和に道を尋ねられた時のこと。母娘三代での旅行だそうで、その背中を見送った翌日、南座前で偶然再会。今度は揃って着物姿、その目的が『舞妓さんと写真を撮りたい』というもの。身なりに失礼があつてはいけない・・・という彼女達の気合いに応えたいと思ったところ、ある催しで記念写真サービスをおこなっていると知り、お連れして念願の記念写真に納まってもらい、京都らしい雰囲気も堪能してもらうことができました。別れ際、ある建物の前で、おばあさまから十数年前の京都旅行の思い出を聞きました。当時妊婦である娘さんの体調がすぐれず、ある催し会場をお願いをして休ませてもらったとのこと。「その時の方、なんだかあなたに似ているわ。」と、当時伝えられなかった気持ちを代わりに受取ってくださいませんかとお礼の言葉をいただきました。あの時の出来事がこんな風に自分の元へかえってくることに胸がいっぱいになり、名乗ることではできませんでしたが、これも一期一会。今は知らない人とも気軽につながれる世の中ですが、この実感をお互い日々の力に変えていきたいと思ひます。本年もよろしくお願ひいたします。

新しい内閣が発足しました。年末に選挙があり、昨年は良くも悪くも政治に注目が集まった年のように思います。

近ごろ私の世代でよく聞く話は、子供は海外で育てる、海外で就職させるということ。昔は裕福な家庭でしか無かった発想ですが、今は普通の家庭でも海外との距離が近くなりました。背景には就職難、入社後は教育されずできないと退職勧奨、上は詰まって出世が見込めず、仕事は押し付けられ給与が上らない、そしてさらに影響を与えているのは今子育てをしている働く母親が企業に抱く失望感。今も昔も働く母親の環境は厳しく、普通に働いてもスーパーマン、相変わらずの男優先企業で出世して活躍するのはウルトラスーパーマン。そこまで大変な思いをして子供を持ったとしても、今よりも厳しい未来が待っているかもしれない、。少子化も、教育、労働力の流出も、消費の落ち込みも、その鍵は実は女性が全て握っているように思うのですが、日本には政治家や官僚、企業のトップで活躍する女性が極めて少なく、女性力が反映されていないのが実情。まずは男性もですが女性も、意識改革から始めたら何か変わる気がするのですが、。新年から失礼しました。本年も女性多き当センターを宜しくお願ひします。 眞